



## 感染対策について

小児科 菱川 容子

新型コロナウイルスで日本を含め世界中が混乱していますが、今回は感染対策の話をしたいと思います。

感染対策には標準予防策という考え方があります。すべての湿性生体物（痰や、唾液、尿、血液、便など）は感染源となりうるため、それらに接する可能性がある場合や、自分が周りを汚染させてしまう可能性がある場合は、予防策をとる必要があるということです。清潔を必要とされる場面や、検査や処置などで飛沫などが飛んだり、体液などに触れたりする可能性がすこしでもあればマスク、手袋、エプロン、アイシールド（フェイスガードなど）の着用が必要となります。



空気感染するような結核、麻疹などの疑いがある人と接する場合は特別なN95マスクが必要となります。新型コロナウイルスのおかげとってはおかしいですがフェイスシールドの存在も世間に広まり、いままで私たちはフェイスシールドの必要性は理解していても、実際つけることが少なかったのですが、いまでは施設内でも積極的に装着するようになってきました。相手がなんらかの感染者であるかどうかその時はわからなくても、あとで感染していたとわかったのでは遅いわけなので、とにかくまずは対策をとることから始まるのです。逆に自分が感染源となってしまうことを避けるためでもあります。

重要な感染対策として手指衛生があります。石鹸による手洗いだけでなく、アルコール消毒剤は、石鹸での手洗い以上の効果があることは新型コロナウイルス感染のおかげなのか、よく知られるようになってきました。

ただ明らかに目で見てわかる汚れがついている場合は、アルコール消毒剤よりも手洗いをするほうが適切です。そして洗った後の手はしっかり乾燥させることが大切です。濡れているとそこにまた汚れが付着してしまうからです。

手指衛生は基本かつ一番大切な予防方法で

それは手を介することで感染が成立してしまうからです。感染しているだれかの手にウイルスや菌がついていて、その人が触れたドアノブ、手すり、パソコンなどなど、それらを知らずに自分が触っており、その手で自分の目や鼻をこする（目や鼻の粘膜から体内にウイルスや菌が入る）、接触感染はそのように感染していきます。少なくともインフルエンザや新型コロナウイルスなど、一般的なウイルスや細菌は飛沫感染（咳や唾液が飛んで人の口や目、鼻などに入る）、や接触感染で人にうつります。マスクや手洗いが予防に大切だといわれる理由がここにあります。

手指衛生というのはそれを行うタイミングが決まっており、確実なタイミングで正しく手指衛生をすることは、我々医療者でもかなり難しいことです。大事なものは、大勢に触れるようなものに触れる前、触れた後には必ず手指衛生をすることです。触れる前というのは、自分の手もいろんな菌やウイルスが付着している可能性があるということです。

それを人や環境にうつさないという意味で触れる前にも必要。そして触れた後は自分の手が汚れてしまった可能性が高く、その手でいろんなものに触れると環境や自分を汚染させることになるので、それを防ぐためです。

マスク着用については、有用性について様々な意見があるでしょう。従来のマスク着用方法は咳エチケットとして、いわゆる呼吸器感染症の症状がある人が、飛沫を広げないために着用するものでした。しかし新型コロナウイルス感染予防が必要な状況下ではユニバーサルマスクング、医療施設に入るすべての人は感染源にならないように症状に関係なくマスクを着用する、というものになっています。



## 療養介護・医療型障害児入所施設

### 各棟取り組み紹介⑪ ひまわり東棟

残念ながら今年の「青い鳥夏まつり」の開催は中止になりましたが、ひまわり東では【コロナ禍でも夏を感じよう！！】という熱い思いを胸に盛大に夏まつりを行いました。病棟内にはこの日のためにみんなで作成した提灯が飾られ、中央には和太鼓が！！法被や浴衣を着て、頭に手ぬぐいを結び、盆踊りの定番曲“ダンシングヒーロー”を流せばお祭りの始まりです。



まずは和太鼓体験！！跳ね返ってくる感触や胸に響く大きい音、なかなか経験したことのない経験にびっくりしつつも、次第にみんなの笑顔が広がります。次は夏まつりの定番、盆踊りです。ダンシングヒーローや炭坑節の曲に合わせて踊ります。完璧に踊りをマスターしたスタッフと一緒に利用者さんも手を取り合って踊ります。はじめはいつもと違う雰囲気少し緊張していた利用者さんも最後にはにっこり。みんなで夏まつりを堪能しました。はしゃいだ後には甘いミルクティーを味わいました。



次はどんな行事が待っているのかな？まだまだ楽しいイベントは続きます！

## 読書コーナー

### やさしくわかるびょうきのえほん 「どうして しんがたコロナになるの？」

絵 : せべ まさゆき  
編集 : WILLこども知育研究所  
監修 : 松永 展明



今、世間をにぎわしている新型コロナウイルス感染症のお話です。新型コロナウイルスについて間違った情報もあり、色々な情報がネットなどで拡散されました。何が正しいのかわからないと思われていた方もみえると思います。

こどもたちの中には、どうしてマスクをしなければいけないのか、アルコールで手を消毒するのか、理解せず、大人に言われるのでしているこどももいると思います。

この本は、新型コロナウイルスとはどんなウイルスなのか、どんな時に感染するのか、感染するとどうなるのか、どうすれば予防できるのか、感染したらどんな症状が出るのかなど、小さなこどもたちでも理解できるように書いてあります。

こども自身で予防対策ができるとう感染も減るのではないのでしょうか。やらされているではなく、病気を理解して自分で予防するという心構えが大切だと思います。また、感染した人達の治療のために頑張っている医療関係者や、その家族が地域でばい菌扱いされているという話もありましたね。医療関係者は感染のリスクもあるけれど、感染した人が元気になるよう頑張って治療や看護をしています。

「がんばっているひとたちのことをわすれないでね」と医療関係者への誹謗中傷に配慮したページもありました。

新型コロナウイルス感染症は死に至ることもあり、恐ろしい病気ではありますが、正しい知識をもって感染予防し、生活できるといいですね。

しっかりご飯を食べて、しっかり寝て、適度な運動もして、新型コロナウイルスが近づいてきてもはじき返す強い体を作りましょう！！  
感染対策の基本である手洗いとうがいで新型コロナウイルスを追っ払いましょう！！

大人が読んでわかりやすく楽しく読むことができました。  
皆さんもぜひ読んでみてください。

(療育支援課 鎌田)



新型コロナウイルスは、発症2日前くらいから他人への感染リスクがあることが知られてきています。感染していても無症状である人もいますから、症状の有無のみでは、感染対策として不十分というわけです。この考え方が、外出時にすべての人はマスク着用を推奨するということにつながるのです。その場合のマスクは医療用のサージカルマスクでなくても十分です。

呼吸分泌物を拡散させないことを目的としていますので、手作りマスクでもあべのマスク（布マスク）でもいいわけです。ただし鼻と口はしっかり覆えていることが必要です。そして使用後のマスクを扱う際は、マスクが汚染されている可能性が高いので、マスクに触れる前後に手指衛生を心がけてください。

最後に、当施設はいわゆる病院とは異なり、外来機能はありますが、入所機能を中心とした療育施設です。耐性菌感染症や、免疫不全状態

の患者さんが多数入院している病院での感染対策とは異なる場面で感染対応に苦慮するケースが多く、スタッフとともにいつも頭を悩ませています。

現在は新型コロナウイルスの流行で、当施設も感染拡大を避けるため、施設機能に制限を設けており、関係者の方々にもご不便をおかけしてしまい、大変申し訳なく思っております。

われわれも行動制限を守り、新型コロナウイルスに感染しないよう、人に感染させないよう、いつも以上に努力を続けております。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## 障害児等療育支援事業 地域療育研修会のご案内

当センターは県から「障害児等療育支援事業」の委託を受け、巡回相談や外来療育、親子通園や保育園等での施設支援等を行っています。また地域の保健・福祉・保育・教育等の支援者向けの「地域療育研修会」を実施しています。今年度は感染拡大防止のため、オンラインの導入や人数制限を設けての開催となりますがご参加をお待ちしております。

第1回	令和2年7月28日（火）	感染拡大防止のため中止しました。
第2回	令和2年10月27日（火）	令和3年1月以降に延期させていただきます。 作業療法士の講演を予定しています
第3回	令和2年12月8日（火）	青木相談員の講演を予定しています。 オンラインでの開催を予定しています。
第4回	令和3年2月5日（金）	行政職員と親子通園の職員向けの研修となります。 地域の会場をお借りして実施をする予定です。
インシデントプロセス法研修会		親子通園の職員向けの情報交換会に変更をさせていただきます。

\*開催時期の1か月前までに、圏域市町村の窓口（尾張中部圏域・海部圏域10市町村）に申し込みの方法等の案内を送付させていただきます。

<お問い合わせ先> 療育支援課 地域療育担当

# きつおん こどもの吃音について

言語聴覚士 高田 直人

吃音とは会話のなかでみられる、語音の流暢性の障害と定義されています。

流暢性とはなめらかさのことを言い、なめらかでないことを非流暢と言ったりもします。吃音は大きなくりでコミュニケーションの障害に含まれています。吃音は年齢に見合わない非流暢性が長く続くことで診断がされます。こどもの吃音は2歳～5歳までの幼児期に多くがみられます。男女によっても違いがみられており、男女の比率は3対1程度とされています。

こどもの吃音についてはいくつかの種類の特徴がみられます。

まず1番多くみられるのが「繰り返し」というものです。「繰り返し」は語の一部を繰り返す症状を言います。

「あ、あ、あ、あひる」のように吃音を想像するときに1番イメージしやすいものだと思います。吃音にはこの「繰り返し」という症状だけではなく他にも種類があります。「引き伸ばし」「ブロック」「言葉の繰り返し」「言葉の挿入」「言葉の言い直し」といったものがあります。それぞれを簡単に説明します。

「引き伸ばし」は「あー、ひる」のように言葉の始めにくる音を伸ばして言います。「ブロック」は「……っあひる」のように話し始めようとはするものの始めの音が出ずかんでしまいます。

「言葉の繰り返し」は、「あれは、あれは、…あひる、あひるが」のように同じ言葉を繰り返します。「言葉の挿入」は「あの一、えーと、えー、あひるがね」のように話したい言葉の前に別な言葉を話すことです。

「言葉の言い直し」は「あ…とりがね（あひると言いたかった）」のように言いたい言葉がうまく出でこず、別の言葉を使って表現します。

吃音と聞くと「繰り返し」のイメージが強いですが、それ以外にも症状があります。

「言葉の繰り返し」や「言葉の挿入」は話したい言葉が言えてはいることからなかなか吃音として理解しにくい症状です。

「言葉の言い直し」では特定の音が特に言いにくい人に多くみられる症状で例えば「あ行」から始まる言葉が言いにくいといった方もおり、そのような方は「あ行」から始まる言葉を極力避け、他の同じ意味の言葉を探したり、その言葉を使わなくてもいいように言葉を省略したりすることもあります。

幼児期の吃音に対しては、これをすれば必ず改善するという訓練法や対応策は確立されてはならず、生活環境の変化や対人関係などからのストレスにより吃音の症状が増加するこどももいます。

まずは、こどもの生活環境の中でストレスを感じているものがないか、そのストレスを軽減する方法がないかを探る必要があります。中には何が嫌なのか本人が伝えられなかったり、本人自身もストレスに気づいていなかったりする場合もあります。周りにいる大人が、こどもが何を感じているかアンテナを張って見守ってあげることが大切です。

幼児期の吃音は、症状がみられてから2年～3年の間には7割程度は改善するといわれています。およそ3割のこどもたちはその後も症状が残るといわれています。また、幼児期の吃音は波がある場合があります。症状が続いていても急に何でもなかったかのように上手に話せるようになったり、そうかと思えばまた急に症状がみられるようになったりする場合もあります。周りが吃音の症状に一喜一憂しているのを感じて、上手に話せないのはダメだと感じてしまう子もいます。吃音は環境の変化やストレスにより症状が増加する場合があります。こどもに吃音の症状が出ていても、話したいことをゆっくり聞いてあげ、会話の中で分かってもらえたい経験を確認してあげることが大切になります。



## 医療型児童発達支援センター どんぐり園 入園募集のご案内

医療型児童発達支援センターどんぐり園は、就学前の肢体不自由・重症心身障害のお子さんが親御さんと一緒に通園する施設です。医療・リハビリテーション・保育・日常生活指導など総合的な療育を行っています。



令和3年度 入園募集期間 10月1日（木）から12月18日（金）  
（募集期間後とも相談の対応可能です）

☆つくしクラス（未満児：概ね2歳から～） 週3日  
☆たけのこクラス（年少児） 週5日  
☆そらまめクラス（年中・年長児） 週5日

- ★年間行事：遠足（春・秋）・プール療育・家族参観 等
- ★個々のお子さんに応じた給食提供（6段階）をしています。
- ☆ご相談や見学希望等、お気軽にお電話をください。

<お問い合わせ先> どんぐり園

電話 052-501-4079（内線274）



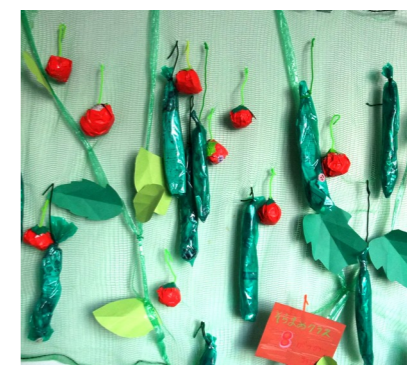
※現在、どんぐり園では新型コロナウイルス感染拡大防止のため、分散登園や給食後の降園など通常の日課を変更しての療育を継続しています。行事の変更等もあり、ご不便をおかけしていますが、安全に楽しく通っていただけるように今後も努力してまいります。

### どんぐり園8月の作品



たけのこ・つくしクラスの作品  
手形でおばけ☆

そらまめクラスの作品  
おいしそうな夏野菜がたくさん☆



おかあさんがかいてくれたのに…  
おばけの姿がみえないよ…。。。  
うたをうたいながら…まほうの絵具を  
ぬったらおばけの姿がでてきたよ！！

